

MP-15T

1.5t油圧アルミジャッキ ライト

取扱説明書

生産物賠償責任(PL)保険付

この度は、1.5t油圧アルミジャッキ ライト MP-15Tをお買い求めいただきましてありがとうございます。
この「取扱説明書」はMP-15Tを安全にご使用いただく為のガイドブックです。

弊社製1.5t油圧アルミジャッキ ライトを初めてお使いいただく方はもちろん、すでにご使用された経験をお持ちの方にも、知識や操作方法を再確認する上でお役に立つものと考えております。

この「取扱説明書」を最後までよくお読みになり、内容をご理解した上で正しくご使用くださいますようお願い致します。又、常にこの「取扱説明書」をお手元に置いて作業することをおすすめ致します。

※自動車整備に関して、一般的な知識のある方が使用することを前提としています。

※一部の車種でジャッキセット位置の形状や位置等により使用できない場合があります。詳しくは、カーディーラー又は販売店にご相談ください。

※記載されているイラストはイメージです。

もくじ

①安全に関するご注意	P.1
②ジャッキの使用条件	P.2
③使用用途	P.2
④各部の名称	P.2
⑤有効範囲	P.3
⑥使用前の準備	P.3
⑦フロント・リヤからのジャッキアップ手順	P.3~4
⑧お手入れ	P.4
⑨ジャッキオイルの補充及び点検方法	P.4~5
⑩エアー抜きの方法	P.5~6
⑪故障かなと思った時	P.6
⑫製品仕様	P.6
⑬保証規定／保証書	P.7

① 安全に関するご注意

※本製品を安全に正しくお使いいただく為に必ずお守りください。

本製品をご使用前に取扱説明書(本書)をよく読み、十分理解した上で使用してください。
取扱説明書には重要事項の説明が記載されています。記載内容に従わずに使用した場合、重大な事故につながります。



重要

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容、及び物的(車両等)損害の発生が想定される内容を示しています。

- 本製品を用途以外の目的で使用しないでください。
- 本製品を、分解・改造しないでください。
- 本製品は自動車をジャッキアップ又はダウンする為だけに専用設計されており、決して車両を持ち上げたまま維持する為のものではありません。
- パワーユニット部の安全弁は出荷時に安全荷重に調整されている為、絶対に触らないでください。
- 本製品の最大耐荷重は1.5t(1500kg)です。最大耐荷重以下で使用してください。耐荷重以上の荷重をかけると、本製品が荷重に耐えられず破損し、車両が落下する場合があります。
- 本製品を使用する前に、無負荷状態でジャッキアップ・ダウンテストを行ってください。もし不具合があれば、使用せずに、販売店又は弊社までご連絡ください。
- 電子制御アサスベンション装着車は、ジャッキアップ前に必ず車両の取扱説明書をご確認の上作業をしてください。車高がかかり思わぬ事故につながる恐れがあります。
- 自動車をジャッキアップ又はダウンする際、車両の周囲3m以内に人(特に子供)や物、他の車両等がないことを確認してから作業を行ってください。
- 使用前又は使用中、本製品に異常が発生した場合(オイル漏れ、変形、動きが悪い等)は、ただちに使用を中止し、販売店又は弊社までご連絡ください。
- ジャッキアップする際は、必ず水平で強固な場所で行ってください。水平でない場所、接地面が軟弱な場所でジャッキアップすると、荷重により本製品が傾き、車両が落下する場合があります。
- ジャッキアップ中にジャッキが前進しない場合は、ただちに使用を中止し、地面やジャッキの車輪を確認してください。水平で強固な場所でも、小石等によりジャッキの移動を妨げ、ジャッキに大きな負担がかかつて破損し、車両が落下する場合があります。
- ジャッキアップする前に必ずパーキングブレーキを確実にかけ、AT車なら「Pポジション」、MT車なら「1速又はRギヤ」にしてください。
- ジャッキアップする場合は安全の為、必ず輪止め、ジャッキスタンドを使用してください。

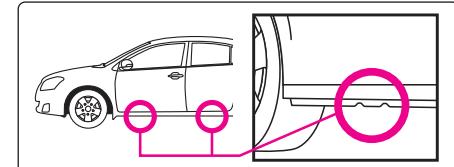


重要

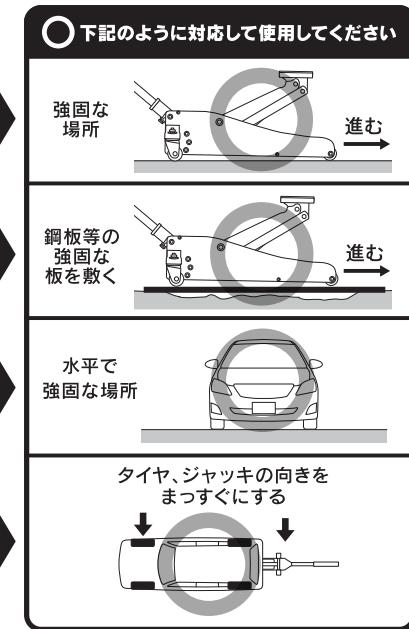
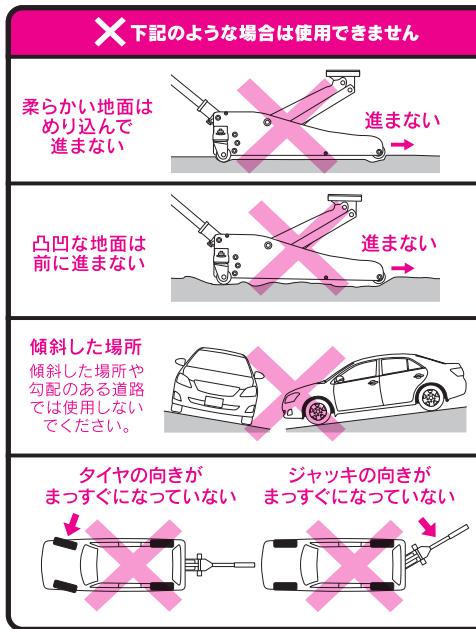
この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、及び物的(車両等)損害の発生が想定される内容を示しています。

- 本製品は-20°C~60°Cの範囲の温度環境で使用してください。
- 本製品を業務用で使用しないでください。
- ジャッキダウン中に、本製品の可動部分に手等がふれると、はまれる危険性がある為、ふれないようにしてください。
- 本製品を持ち運ぶ際は、本体のすきま等で手や足等をはさまないよう十分気をつけて取り扱ってください。
- 本製品を持ち運ぶ際に重いと感じた場合は、無理に一人で運ばないでください。
- 本製品のハンドルはジャッキアップ・タウン時以外は、接触防止の為、必ずハンドルスリーブからはずしてください。
- 荷物や人を乗せたままジャッキアップしないでください。
- 本製品の使用前又は使用後には、必ず各部に問題がないか確認してください。
- ジャッキオイルは適時交換してください。

- 自動車のエンジンをかけたままで使用しないでください。
- 本製品を長時間倒したり、寝かせたりして保管しないでください。オイル漏れの原因となります。
- 下記形状等の車載ジャッキ用ジャッキセット位置でのご使用は、車両を破損させる場合があります。



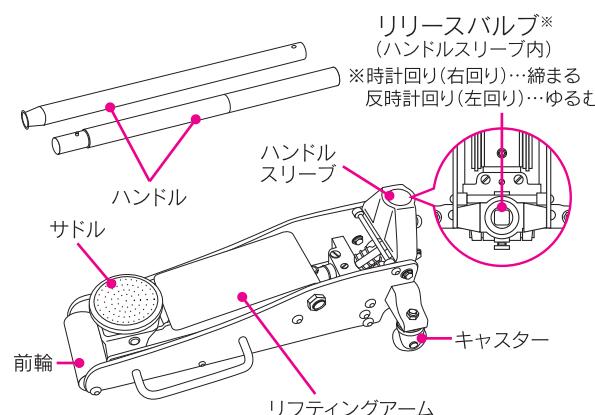
② ジャッキの使用条件



③ 使用用途

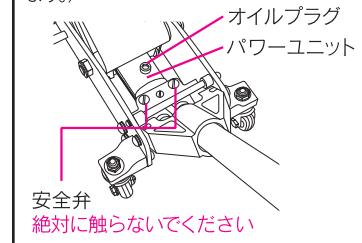
本製品は自動車のタイヤ交換や整備の際に自動車をジャッキスタンド等で維持させる為に、ジャッキアップ又は、ジャッキダウンさせる目的で使用するジャッキです。
本製品はジャッキアップ状態を維持したまでの作業等には使用できません。

④ 各部の名称

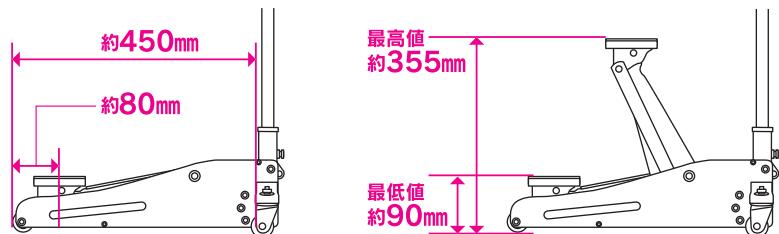


安全弁について

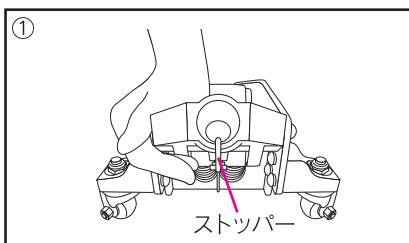
本製品には安全弁が付いており、出荷時に安全荷重に調整されている為、絶対に触らないでください。
(ジャッキに安全荷重以上の負荷がかかつた場合、作動しないようになっています。)



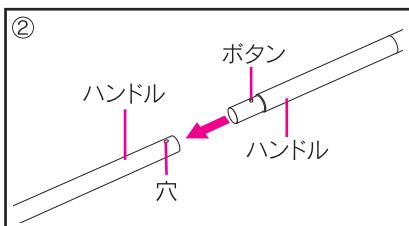
⑤ 有効範囲



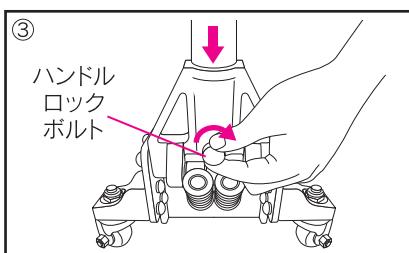
⑥ 使用前の準備



①ハンドルスリーブの差し込み部を
しっかりと押して下げる、ストッパーをはずす。
※ストッパーをはずすときに、ハンドルスリーブ部が
跳ね返り非常に危険ですので、ご注意ください。



②ハンドル2種を連結する。
ハンドルのボタンを指で押して、
もう一方のハンドルに差し込み、
穴にはめ込む。



③ハンドルをハンドルスリーブに差し込み
ハンドルロックボルトでしっかりと固定する。

⑦ フロント・リヤからのジャッキアップ手順

- ※説明はフロントジャッキアップの場合です。
- ①パーキングブレーキを確実にかけ、タイヤに輪止めをセットする。
 - ②水平で強固な場所にジャッキを置き、
サドルがジャッキセット位置*の真下にくるようにジャッキを移動する。
*ジャッキセット位置:車載の取扱説明書で確認してください。

③リリースバルブを右回り(時計回り)に回してリリースバルブをしっかりと締める。

※リリースバルブの締め付けが不十分な場合はジャッキアップができません。

④ハンドルを上下に動かし、
サドルをジャッキセット位置付近まで上昇させ一度停止し、
ジャッキセット位置の中心がサドルの中央にかかることを確認する。

⑤確認後、ハンドルを上下に動かし、
車両を上昇させ、ジャッキスタンドが車両の
ジャッキセット位置にセットできるまで上げる。

※サドルが全く上がらない場合は、P.6の「故障かなと思った時」の①を参照してください。

※サドルが途中までしか上がらない場合は、P.6の「故障かなと思った時」の②を参照してください。

※サドルが自然に下がる場合は、P.6の「故障かなと思った時」の③を参照してください。



⑥ジャッキスタンドを車両のジャッキセット位置の真下になるよう合わせて置き、
ジャッキスタンドが車両を維持するまでリリースバルブを
左回り(反時計回り)にゆっくり回し、ジャッキダウンする。
※リリースバルブをゆるめる際は、締めた状態から3回転以上回さないでください。故障の原因になります。

⑦作業後、再びジャッキをジャッキセット位置まで移動させ、
リリースバルブを右回り(時計回り)に回してリリースバルブをしっかりと締め、
ジャッキスタンドが取りはずせる位置までジャッキアップする。
※リリースバルブの締め付けが不十分な場合はジャッキアップができません。

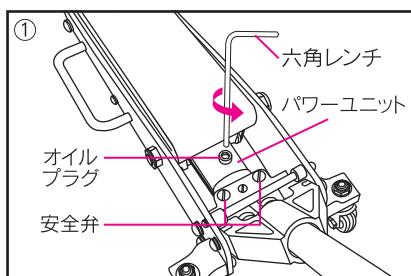
⑧ジャッキスタンドを取りはずし、
リリースバルブを左回り(反時計回り)にゆっくり回しジャッキダウンする。
※リリースバルブをゆるめる際は、締めた状態から3回転以上回さないでください。故障の原因になります。
※サドルが途中までしか下がらない場合は、P.6の「故障かなと思った時」の④を参照してください。
※サドルが下がりきらない場合は、P.6の「故障かなと思った時」の⑤を参照してください。

⑨作業が終了したらサドルやリフティングアーム、
フレーム等に付着した泥、オイル、グリス、水滴等の汚れをきれいに拭き取る。

⑧ お手入れ

- 本製品を使用しないときは、錆などによる作動不良防止の為、
リフティングアームを最低位置に下げておいてください。
- 本製品は常にきれいにして、可動部に適時注油してください。
- オイルの量が減少した場合、適正量を補充してください。
- 保管する際は、錆や作動不良など故障の原因になるので、
雨や雪の当たるところ及び湿気の多いところには保管しないでください。
- 本製品を長時間使用しない場合は、リリースバルブ、オイルプラグ等が
しっかりと締まっているか確認してください。

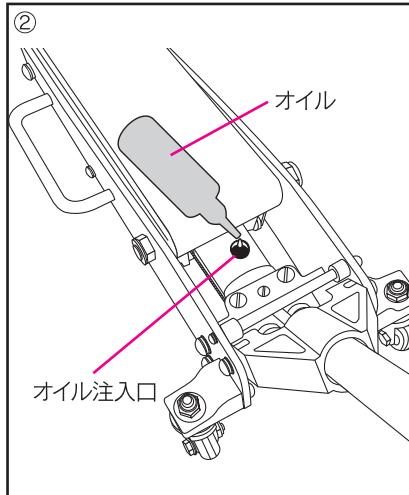
⑨ ジャッキオイルの補充及び点検方法



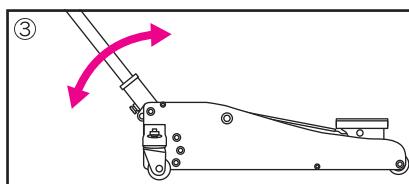
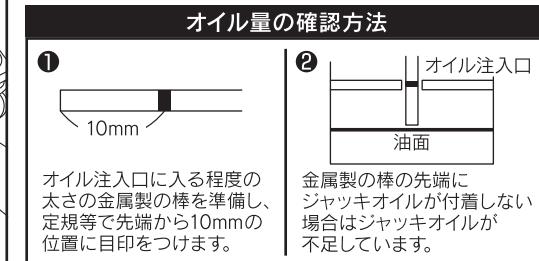
①リフティングアームを最低位置まで下げる、
平らな場所でオイルプラグを六角レンチ*で
左回り(反時計回り)に回してはずす。

※安全弁は、絶対に触らないでください。

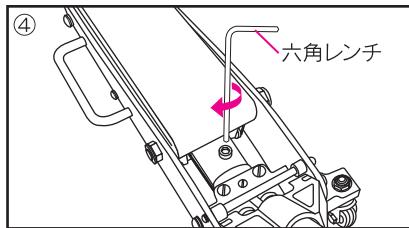
*六角 平径8mm



② オイル量を確認する。
オイル注入口から油面まで約10mm以上の
空間があれば、ジャッキオイルをオイル注入口
から少量ずつ注入する。
※オイル注入中にゴミが入らないように注意してください。
※入れ過ぎには注意してください。
※ジャッキオイルの適正量は、リフティングアームを
最低位置まで下げる状態でオイル注入口から油面
まで約10mmの空間を設けた位置です。(約100cc)



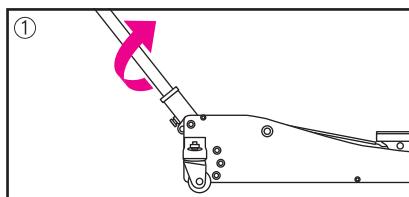
③ ハンドルをすばやく5~6回可動範囲いっぱいに
上下させる。



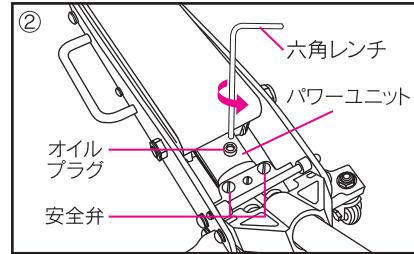
④ 作業が終了したら、オイルプラグを
六角レンチで右回り(時計回り)に締め付けて
元の状態に戻す。

- 火気のある場所、又はその近くでオイル交換及び補充をしないでください。
- ジャッキオイルは指定されたものを使用してください。エンジンオイルやその他の
オイルは粘度等が違う為、作動不良の原因となるので絶対に使用しないでください。
ジャッキオイル:F-62ジャッキオイル又はISO VG32相当の一般作動油を使用してください。

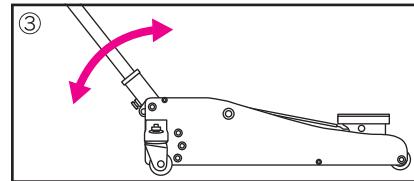
⑩ エアー抜きの方法



① リリースバルブがしっかりと締まつた
状態から左回り(反時計回り)に1~2回転させ、
ゆるめる。
※リリースバルブをゆるめる際は、締めた状態から
3回転以上回さないでください。故障の原因になります。



② オイルプラグを六角レンチ*で
左回り(反時計回り)にまわしてはすす。
※安全弁は、絶対に触らないでください。
*六角 平径8mm



③ ハンドルをすばやく5~6回可動範囲いっぱいに
上下させる。
作業が終了したら、オイルプラグを六角レンチで
右回り(時計回り)に締め付けて、元の状態に戻す。

⑪ 故障かなと思った時

症 状	原 因	対 处
① 全く上がらない	リリースバルブが しっかりと締まっていますか。	リリースバルブを しっかりと締めてください。
	エアーが混入していませんか。	エアーバルブを開いてください。P.5参照
	ジャッキオイルが不足していませんか。	ジャッキオイルを適正量 補充してください。P.4参照
② 途中までしか上がらない	ジャッキオイルが不足していませんか。	ジャッキオイルを適正量 補充してください。P.4参照
	ジャッキオイルが 多く入り過ぎてませんか。	余分なジャッキオイルを抜き、 適正量にしてください。P.4参照
③ 自然に下がる	リリースバルブが しっかりと締まっていますか。	リリースバルブを しっかりと締めてください。
④ 途中までしか下がらない	パワーユニットに問題があります。	販売店又は弊社までご相談ください。
⑤ 下がりきらない	可動部に注油されていますか。	適時注油してください。

※その他、原因や異常箇所が判らない場合は使用を中止して、販売店又は弊社までご相談ください。

⑫ 製品仕様

最大耐荷重	1500kg(最大揚程質量) 14.7kN
最低/最高地上高	約90mm/約355mm
ストローク	約265mm
本体サイズ	約550(W)×130(H)×240(D)mm
重さ	約14.5kg
ハンドルサイズ	約980mm
ハンドル取付後全長	約1435mm
サドルサイズ	約φ97×14(H)×6.5(厚み)mm
作動油	油圧潤滑油(ISO VG32)
油量	約100cc
使用温度範囲	-20°C~60°C